

理科教育助成校を訪問

財団ではこの季節に理科教育助成の対象校を訪問し、授業の様子や先生方の授業研究論議を見せていただいています。11月11日には、福島県二本松市の廃校となった小学校に原発被災地から避難して学習を続ける、浪江町立浪江中学校を訪問しました。同校生徒は、1,2,3年生それぞれ4,7,9名の全校20名です。学校行事やクラブ活動、授業のグループ学習など大変な苦勞・工夫をなさりつつ、明るく学んでいる姿に胸を打たれました。



《実験目的や実験手順を確認》

この日の授業は「台車に働く力」。手のひらサイズのミニ台車を、バネで弾いたり、おもりが落ちる力で引っ張ったりして、台車の加速・減速運動を観察し記録しました。

データの記録は、記録紙への打点間隔を物差しで測る従来方式と、タブレット端末(財団助成金で購入)のアプリで連続写真をとるICT活用方式の2つです。

タブレット扱いは先生よりもかなり慣れた風でした



《実験結果と考察を発表》

「台車に働く力は摩擦力です。」と発表したところで授業時間終了。生徒同士の論議や先生の誘導時間が足りず、やや消化不良でした。

授業後、全教科の先生が参加する研究会では、担当の理科の先生からICTの善し悪しが指摘されました。ICT方式は直感的理解は優れるものの、現象の論理的理解や言語化のためには従来の手書きデータ処理が優れた学習手法になるように思われます。

ICT活用教育道半ば、と感じる日となりました

理科教育助成校・団体を選考

11月17日に選考委員会を開き、来年の1月から助成を開始する学校・団体を下表のように選定しました。各校申請書を深く読み込み、計画の具体化や助成金の使い方が検討不足の案件に対しては厳しい改善要請を出してレベルアップを図りました。

2016年度理科教育助成 助成校・団体一覧

助成期間:2017年1.1~2018年12.31

助成総数:35件 助成金総額:2,100万円(60万円/件)

■神奈川県14件(総額:840万円)

横浜市立鴨居中学校、	横浜市小学校理科研究会、
横浜市立三ツ沢小学校、	横浜市中学校教育研究会理科部会、
川崎市立中学校教育研究会理科部会、	横須賀市自然・人文博物館、
三浦市立剣崎小学校、	厚木市立荻野小学校、
伊勢原市立伊勢原中学校、	平塚市立旭陵中学校、
秦野市立鶴巻中学校、	座間市立栗原小学校、
相模原市立青根小学校、	小田原市立白山中学校

■福岡県7件(総額:420万円)

行橋市立今川小学校、	飯塚市立飯塚東小学校、
大牟田市立天の原小学校、	福岡市立香椎東小学校、
福岡市立有住小学校、	北九州市立藤松小学校
北九州市立板櫃中学校、	

■栃木県4件(総額:240万円)

栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校、	下野市市立古山小学校、
栃木県立矢板東高等学校附属中学校、	鹿沼市立加蘇中学校

■福島県10件(総額:480万円)

伊達市立伊達小学校、	天栄村立広戸小学校、
棚倉町立棚倉中学校、	会津若松市立謹教小学校、
下郷町立江川小学校、	
いわき市立平第四小学校、	いわき中学校理科同好会
いわき市立高坂小学校、	いわき市立小名浜第一小学校、
いわき市立内郷第一中学校	